



農村の伝統文化の継承と地域の活性化

中間農業地域

ひとやま とのしょうちょう
肥土山を守る会（香川県土庄町）

- 小豆島中央部にある水田地帯で、農業に端を発する伝統文化を継承している地域でもある。しかしながら、農業者の高齢化や後継者不足により農業用施設の維持管理に苦慮していた。
- 本制度により、非農業者も含めた維持管理の体制を構築。伝統文化の継承の場となるため池や畦道の日常の管理を実施。
- 非農業者を含めた体制の構築により、維持管理が充実するとともに、伝統文化の継承の活動を通じて、コミュニティ機能の向上等、地域の活性化の一翼を担っている。

【地区概要】

- ・取組面積24ha（田23ha、畑1ha）
- ・資源量
開水路12.9km、パイプライン2.5km、
農道0.2km、ため池3箇所
- ・主な構成員
農業者、土地改良区、自治会、
老人会、青年会
- ・交付金 約1百万円（H29）
〔 農地維持支払
資源向上支払（共同） 〕

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、小豆島中央部の水田地帯で、水源であるため池「蛙子池」が1686年に完成したことを機に始まった「肥土山農村歌舞伎」が現在も行われるなど、農業に端を発する伝統文化を継承している。
- 農業者の高齢化や後継者不足により、ため池や水路の草刈りなどの農業用施設の維持管理に苦慮していた。



水源であるとともに、約1000本の桜が植えられ、春には花見客で賑わう「蛙子池」

国有形民俗文化財に指定された「肥土山農村歌舞伎」の舞台



取組内容

- 平成19年度の活動組織設立時に、これまで維持管理に関わっていなかった非農業者（30～40歳代の青年会）も加わり、ため池等の草刈を実施。
- 本地域では、江戸時代から、松明をかざしながら田植え後の棚田の間を練り歩き、稲の虫除けと豊作を願う伝統行事「虫送り」が行われており、活動組織は伝統行事の場ともなる畦道の日常の管理を行うとともに、虫送りの運営にもボランティアで参加している。



町無形民俗文化財「虫送り」

（第10回かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト 優秀賞受賞作品）

取組の成果

- 活動組織に青年会が加わったことにより、ため池等の草刈の体制が強化され、以前より維持管理できる範囲が広がるとともに、きめ細やかな作業が可能となった。また、共同活動に関する非農業者の意識醸成が図られた。

【以前：約30人 ⇒ 現在：約50人】

- 伝統文化の継承活動を通じて、コミュニティ機能が向上するとともに、都市住民の関心も集め、地域の活性化の一翼を担っている。



ため池の草刈り